

生物科学学会連合 第10回定例会議 議事録

日時：2014年10月11日（土）15:00～17:00
場所：東京大学理学部2号館2階223号室
（東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス内）

出席：

運営委員

浅島 誠（生科連2013-2014代表・国際生物学オリンピック日本委員会[JBO]委員長）
福田 裕穂 宮島 篤 入江 賢児

団体代表(加盟団体)

東原 和成*（日本味と匂学会）	梶屋 啓志（日本遺伝学会）
仲嶋 一範*（日本解剖学会）	後藤 聡（日本細胞生物学会）
深田 吉隆（日本時間生物学会）	浦野 徹（日本実験動物学会）
加藤美砂子（日本植物学会）	松永 幸大（日本植物生理学会）
寺井 洋平（日本進化学会）	仲嶋 一範*（日本神経化学会）
永井 義隆（日本神経科学学会）	大野 茂男（日本生化学会）
高田まゆら（日本生態学会）	都築 功（日本生物教育学会）
船津 高志（日本生物物理学会）	小西 真人（日本生理学会）
遠藤斗志也（日本蛋白質科学会）	武田 洋幸*（日本動物学会）
武田 洋幸*（日本発生生物学会）	木下 充代（日本比較生理生化学会）
岡 良隆（日本比較内分泌学会）	妹尾 啓史（日本微生物生態学会）
小林 武彦（日本分子生物学会）	村上 哲明（日本分類学会連合）
樗木 俊聡（日本免疫学会）	

（計25団体）

団体代表(オブザーバー団体)：

東原 和成*（日本農芸化学会） 北里 洋（自然史学会連合）

（計2団体）

オブザーバー

武田 洋幸*（IUBS日本代表委員）

（計1名）

欠席： 個体群生態学会、日本宇宙生物科学会、日本薬理学会

（計3団体）

（加盟合計28団体）

（敬称略、団体名50音順）

事務局 中西 秀彦 村田 英樹

議題・報告：

1. 前回議事録の承認

前回定例会議の議事録案が確認され、承認された。

2. 平成27・28年度代表の選出について

浅島代表より、平成27・28年度代表の選出に当たり、これまでに加盟団体

より以下の3名の候補者が推薦されている旨の報告がなされた。

・中野明彦氏

(日本植物学会、日本植物生理学会、日本生化学会、日本細胞生物学会、日本生物物理学会、日本分子生物学会所属、日本宇宙生物科学会、日本生化学会、日本生物物理学会、日本蛋白質科学会より推薦)

・福田裕穂氏

(日本植物学会所属、日本植物学会、日本比較内分泌学会より推薦)

・山本正幸氏

(日本分子生物学会所属、日本分子生物学会より推薦)

また浅島代表より、生物科学学会連合運営規約、代表選出議決細則ならびに事前投票取扱細則に基づき、投票による選出方法が説明され確認された。引き続き投票が行われ、宮島運営委員を立会人として開票作業が行われた結果、中野明彦氏が平成27・28年度代表に選出された。

3. 日本植物形態学会の入会について

浅島代表より、日本植物形態学会から入会希望がある旨説明がなされ、入会申込書を確認した後、日本植物形態学会の入会が全会一致で承認された。なお、入会は平成27年度からとなる旨、確認がなされた。

4. IUBS(国際生物学連合)について

武田 IUBS 日本代表委員より、IUBS(国際生物学連合)の活動状況について報告がなされ、9月に東北大学で開催された「災害と生物多様性国際シンポジウム 2014 (DAB:Disaster and Biodiversity International Symposium 2014)」の開催概要について説明がなされ、今後、災害による被害があった際に、どのような対応が可能なのかについてプロトコルを決めるための作業を進めていくとの報告がなされた。

5. IBO・JBO(国際生物学オリンピック)について

都築国際生物学オリンピック日本委員会委員より、7月に開催された第25回国際生物学オリンピック (IBO2014) インドネシア大会について、参加者の状況、受賞の状況などについて報告がなされた。

また、日本代表を選考する日本生物学オリンピック 2014 の開催概要についても併せて報告がなされた。

次回の国際生物学オリンピックは、2015年7月にデンマークで開催される旨の報告がなされた。

引き続き浅島代表より、日本の高等学校における生物学教育の問題点等についてコメントがなされ、2020年には国際生物学オリンピックが日本で開催されるので、開催成功のための協力依頼がなされた。

6. 平成25年度会計監査報告

事務局より、第9回定例会議で承認されている平成25年度会計報告について、8月29日に石浦章一、松木則夫両会計監査委員による会計監査が行われ、監査の結果、正確妥当なものであるとの監査証明書を受領したとの報告がなされ、改めて平成25年度会計報告が承認された。

7. 教科書問題検討委員会について

都築日本生物教育学会副会長より、委員会として「用語の統一」を目的として主要 5 社の「基礎生物」および「生物」の教科書の索引等に掲載されているすべての用語のリストを作成し検討を加えたこと、これらの用語について各委員から意見を集約したことなど、これまでの取り組み状況について報告がなされた。

また、今後の作業については、ワーキンググループを設置するなどして活動を続けていく旨報告がなされた。

これに対し浅島代表より、意見を羅列してもなかなかまとまらないので、ある程度委員会あるいはワーキンググループで意見を集約したうえで、案を決定して欲しいとの要望がなされた。

8. ポスドク問題検討委員会について

小林委員長より、委員会設置の経緯ならびにこれまでの活動内容について報告がなされ、ポスドク問題の検討は大きなテーマであるため、まず関係機関宛に現状を認識してもらうことと今後の必要な取り組みを依頼する目的で、提言書を作成することとし、各委員からの意見を集約した文案について説明がなされた。

これに対し浅島代表より、色々なキャリアの創出はアカデミアでも努力する必要がある、今回まとめられた提言は、文部科学省をはじめ科学技術振興機構や主要な企業など、なるべく多くの関連機関に提出したいとの意見が出された。

また、福田副代表より、文部科学省から理解を得るのは困難を伴うことが予想され、企業に対して幅広く社会に役立つ人材の供給を訴えたいとの意見が出された。

提言書の文案を検討した結果、本案を基本として、グラフなど視覚的な工夫も加えたいうえで、なるべく最新のデータを使用し、小林委員長を中心に再度文章を練り上げていくことが確認された。

9. 次期会計監査委員について

浅島代表より、平成 27・28 年度監査委員の選出については、今回の定例会議で行う予定であったが、中野次期代表にも確認する必要があるため、中野次期代表と協議後、改めて次期会計監査委員の選出を行いたいとの提案があり、承認された。

10. 平成 27 年度予算案について

事務局より、日本植物形態学会入会に伴う収入増や、支出において活動費を増額させるなどした平成 27 年度予算案について説明がなされ、協議の結果、原案通り承認された。

11. 日本学術会議関連報告

福田副代表より、本年 10 月より第 23 期がスタートした日本学術会議の近況について報告がなされ、会長ならびに副会長は以下の通り選任されたとの報

告がなされた。

会長 大西 隆氏

副会長 向井千秋氏（組織運営等担当）

井野瀬久美恵氏（政府との関係等担当）

花木啓祐氏（国際活動担当）

また、第二部については、部長が長野哲雄氏、幹事が福田副代表ならびに石川冬木氏となった旨、併せて基礎医学委員長に本間さと氏、基礎生物学委員長に福田副代表、統合生物学委員長に巖佐 庸氏がそれぞれ就任した旨の報告がなされた。

12. その他

都築日本生物教育学会副会長より、シンポジウム「これからの理科系教育を考える」の案内告知がなされた。

浅島代表より、次回の定例会議開催日については、2015年2月頃を予定しているが、具体的な日時、会場は中野次期代表とも協議のうえ決定し、各加盟団体宛に連絡がなされる旨の提案がなされ、了承された。

最後に浅島代表より、12月をもって代表を退任するに当たっての挨拶がなされ、出席者ならびに加盟団体に対する謝意が述べられた。

以上